

やまなみ

2017
冬
vol.16



写真提供：木曾町観光協会「第9回木曾町フォトコンテスト入選作品『樹氷の朝』」（御嶽山）

【特集記事】

- ・ **芸術活動を取り入れた豊かな暮らしづくり**
～長野県社会福祉事業団における芸術活動支援～
- ・ **第50回全国社会福祉事業団大会開催！**
～社会福祉事業団の新たな課題への挑戦～

【連載記事】

- ・ **事業所リレートーク**
- ・ **チャレンジ・アクション**
実務論文の選考結果発表
職員提案の表彰
- ・ **つれづれ福祉**
「うどん・おやき工房さくら」移転開設！
- ・ **トピックス／人事異動／プレゼント**



いであつじ

長野県社会福祉事業団 理事長 和田

恭良

日ざしの明るさに春の気配を感じるようになりましたが、新年早々大雪に見舞われ、インフルエンザが猛威をふるっています。健康の保持には十分留意されるようお願いいたします。

さて、昨年は全国117の社会福祉事業団が加入する協議会の第50回という節目となる全国大会を長野の地で盛大に開催することができました。各事業団が新たな分野や課題に積極的に取り組んでいる姿が報告され、大いに勇気づけられました。

当事業団も新たな5年間の方向性を示す第3次長期構想を策定するため、現在、職員の提案をもとに第三者を加えた委員会の場で議論をしております。県においては

時を同じくして西駒郷の在り方を見直すべく検討が進められております。

さらに、改正社会福祉法により、経営組織のガバナンスの強化や事業運営の透明性の向上、地域貢献など、事業団の公益性・非営利性を確保する観点から逐次制度が見直されています。

地域におけるセーフティネットの担い手として、利用者をはじめ関係の皆様が安心できるよう、サービスの向上にたゆまず努めると同時に、新たな需要や課題にも前向きにとり（西年です！）組んでいきたいと存じます。

皆様の一層のご指導とご協力をお願いいたします。

芸術活動を取り入れた 豊かな暮らしづくり

長野県社会福祉事業団における芸術活動支援

今日、障がい者の芸術活動を後押しする取り組みが活発化しつつあります。国内外で開催された作品展が高い評価を得ているほか、政府内でも「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた障害者の芸術文化振興に関する懇談会」が設置され、意見交換が重ねられています。

長野県においては、平成10年に長野パラリンピック冬季競技大会にあわせ、市民のネットワークによって開催された、障がい者の芸術の祭典「98アートパラリンピック長野」が契機となり、障がい者の芸術活動支援の取り組みが全県的に広がり始めました。

今回の特集では、今年度より県から受託して開催した「ザワメキアート展」の開催報告を含め、事業団が運営する事業所の芸術活動支援の取り組みを紹介します。

取り組み紹介



創作サークル

創作サークル（水内荘）

月1回のサークルの時間に活動しています。今年度はこいのぼりを作ったり、鬼無里村の「案山子コンテスト」に作品を応募したりしました。（案山子は「アイデア賞」を受賞！）



長野ブロック



創作活動

八雲日和

概ね週1回創作の時間を設け活動をしています。作品は玄関に飾るほか、夏には権堂アーケードの七夕飾りを作って毎年展示しています。



創作活動

伊那ゆいま〜

絵や習字を貼ったうちの作品を、地元の喫茶店「喫茶なごみ樹」や「ほかほかアート展」などで展示しています。



上伊那北部ブロック

創作活動

辰野町地域活動支援センター

創作活動の時間に絵画だけでなくお面など様々な作品を作っています。作品は事業所内や町民会館、郵便局で展示したり、「長野県障がい者文化芸術祭」や辰野美術館主催の「創造の王国展」等に出品しています。



墨あそび

長野市地域活動支援センターこぶし地元講師を招き、年10回ほど筆と墨を使って自由に書いています。作品は豊野町文化祭にて展示しました。



余暇活動 松本ブロック

信濃学園

長期休暇中の余暇活動の一環として絵をかいたり、工作をしたりしています。その作品がカレンダーや「のびろ祭」でお目見えます。



陶芸教室

松本ひよこ

月2回陶芸教室を開催しています。自分のペースで楽しみながら活動しています。制作したコップやお皿は、「ひよこ祭」で販売しています。



専科教室

西駒郷

数名のメンバーが毎日個別で絵画等の活動を行っています。作品は「にしこま祭」や「ほっと展」のほか、「長野県障がい者文化芸術祭」や長野美術館主催の「創造の王国展」等に出品しています。



上伊那南部ブロック

にしこま祭作品展

にしこま祭実行委員会

(西駒郷)

日頃の活動の発表の場として「にしこま祭」で作品を展示しています。(毎年10月頃開催)



ほっと展

西駒郷

地元のデパート「ベルシャイン駒ヶ根店」で利用者の作品や日頃の活動内容を紹介します。(毎年2月頃開催)



ザワメキアート展

信州ザワメキアート展実行委員会(サンアップル)

2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け長野県内における障がいのある人の文化芸術活動を促進するための新たな取り組みとして公募展を開催。初回となる今年度は192名の応募があり、そのうち20名の作品を「ホクト文化ホール(長野市)」「茅野市美術館(茅野市)」「銀座NAGANO(東京都)」の3会場で展示したほか、各会場で講演会やワークショップを開催しました。



今回、「芸術活動支援」をテーマに取り上げましたが、障がいのある人の暮らしは、目まぐるしく変化する「福祉制度」の影響を受けやすい傾向にあります。一般論としてですが、平成18年の障害者自立支援法の施行により「日中活動の場」と「生活の場」が明確に切り離された結果、就労支援事業所はもとより、生活介護事業所や施設入所支援事業所であっても、「芸術活動」を含む余暇活動支援の時間は取りづらくなってきました。

(中村)

障がい者福祉センターブロック

長野県障がい者文化芸術祭作品展

長野県障がい者文化芸術祭実行委員会(サンアップル)

県内で文化芸術活動に取り組んでいる障がい者の作品を展示、紹介し、その鑑賞を通して豊かな感性に触れることで、障がい者の文化芸術活動への理解を深め、この活動の一層の振興と社会参加の促進を図ることを目的とした公募展として開催。なお優秀作品展として、今年度はサントミュージーゼ(上田市)ほか県内各会場で展示しています。(信濃美術館 3/19まで)



ばかばかアート展

サンアップル

南信地域の6つの障がい者施設の利用者が制作した手芸や絵画などの作品約130点を伊那文化会館(伊那市)にて開催。会場では、「長野県障がい者文化芸術祭」の優秀賞以上に選ばれた作品20点も展示しました。



画や陶芸などの「芸術活動」だけでなく、スポーツや音楽、演劇、映画鑑賞等も含めて実に多様な選択肢があります。今回の特集では、現在事業団で実践している「芸術活動支援」の取り組みを紹介させていただきましたが、「豊かな暮らし」を実現するためには、このような余暇活動の時間が非常に重要となります。豊かな暮らしづくりの一助として、日々の生活・活動に「芸術活動」を取り入れてみてはいかがでしょうか。

第50回全国社会福祉事業団大会開催！ 社会福祉事業団の新たな課題への挑戦

全国には各地方公共団体が設置した社会福祉施設の円滑な経営を図るため「社会福祉事業団」が設立されており、当事業団もその一つとなります

が、この度「全国社会福祉事業団協議会（以下「全事協」と表記）」主催による「全国社会福祉事業団大会（以下「全国大会」と表記）」が平成28年10月20日、21日に長野県で開催されました。

「全事協」には、北海道から沖縄県まで計117の事業団が加盟しており、この「全国大会」は年1回、全国の事業団が一堂に会し、総会のほか講演やシンポジウム、実践発表等を行うものです。

今回の「全国大会」は第50回という節目の大会であり、ホスト県として当事業団がその運営にあたりました。



当事業団の職員が出迎えます



武居氏による基調講演



阿部長野県知事からの祝辞



原田氏による特別講演

第50回全国社会福祉事業団大会 内容

テーマ

「社会福祉事業団の新たな課題への挑戦」
～強みを発揮し地域のニーズに取り組む～

実践報告（第39回実践報告・実務研究論文優秀賞作品）

基調講演

「社会福祉法人改革とその意義」
～国民は社会福祉法人に何を期待しているのか～
全国社会福祉法人経営者協議会 副会長 武居 敏

特別講演

「一本の道」
画家・グラフィックデザイナー 原田 泰治

分科会

（第1分科会）
「社会福祉事業団の新たな課題への取組みについて」
コメンテーター
大阪府立大学 地域保健学域 教授 関川 芳孝

（第2分科会）

「高齢者・障がい者が住み慣れた地域で安心して生活していくための地域包括ケアについて」
コメンテーター
淑徳大学 総合福祉学部 教授 結城 康博

全体会



全国各地のマスコットキャラクターが集会！



10年後の自法人へのメッセージをタイムカプセルに封入



分科会の様子



交流会には全国各地から300名を超える方にお集まりいただきました



実践報告・実務研究論文等の表彰式



神奈川県社会福祉事業団の提案により関東甲信越ブロックの地酒を持ち寄って振る舞いました



来年度は福島県社会福祉事業団が開催担当となります

長野県社会福祉事業団は長年培ってきたノウハウを活かし、行政をはじめ全事協のネットワーク、そして関係団体等との緊密な連携の下、時代の要請に的確に対応した公益性の高い取り組みを推進してまいりたいと考えます。

関係者の皆様の一層のご指導とご協力をお願いいたします。

（河原崎）

- ・地域における公益的な取組の推進
- ・組織経営のガバナンス強化
- ・法人運営の積極的な情報開示
- ・行政との協働による新たな福祉サービスの推進
- ・福祉人材の確保と育成強化

こういって中、これからの社会福祉事業団のあり方について討議を重ねた結果、次の目標を定め、その実現に向けて努力する決意を大会宣言としてまとめました。

制度改革を柱とした改正社会福祉法が公布されましたが、我々社会福祉事業団のみならず社会福祉法人全体としての課題が山積しています。

今回の全国大会は「社会福祉事業団の新たな課題への挑戦」～強みを発揮し地域のニーズに取り組む～をテーマに開催されました。

社会福祉法人



① 長野市地域活動支援センターこぶし

～しめ縄づくりに挑戦～



年の瀬を間近にした12月9日、地元の先生を講師に招いて「しめ縄づくり教室」を実施しました。風土・伝統・季節行事等いずれをとってもその最たるものの一つに数えられる「しめ縄づくり」ですが、今では個人的に作る家庭は殆どなく、既製品で間に合わせているのが実情です。当所利用者の中でも、かつて「ワラ縄」を編んだことがある方はいますが、「しめ縄」を編んだ方は皆無であったため、ぜひ体験してみようと今季の計画に挙げてありました。

実施を前にまずは講師を探すこと、ワラをしめ縄用に梳いておくことなど相応の準備を要しましたが、講習が始まると意外や意外、皆さんの手さばきの良さに講師もびっくり、多くの人が飾れる「逸品」を作り上げることができました。

ワラの匂いの懐かしさ、既製品では味わえない温かみある作品に、明るいお正月を迎えられました。(仲俣)



② 辰野町障がい者就労支援センター「工房ぬくもり」

～ギフトセットの販売をはじめました！～

辰野町障がい者就労支援センター「工房ぬくもり」では、利用者の更なる工賃の向上を目的に、生麺を詰め合わせたギフトセットの販売を昨年からはじめました。なお、新たな商品を販売するにあたって、チラシ作りや箱の選定などは、利用者の意見も取り入れています。



また、将来的には「生麺のインターネット販売」を検討しており、ホームページを昨年リニューアルしました。多くの方に情報発信していけるよう、販売の様子などを写真と共に紹介しています。

今後も、生麺の製造、販売を通して障がい者の理解を地域や社会へ広めていけるよう、様々なことに取り組んで発信していきたいと思ひます。

(奈須)



ぬくもり
工房

③ 西駒郷まつば支援課「えこ宮田」

～一服どうぞ！お点前でゆったりとした時間を提供～

西駒郷まつば支援課「えこ宮田」(生活介護：定員20名)は、大自然を満喫しながらゆったりとした流れの中で農作業や室内作業を行うとともに、生きがいを実感できる活動や社会体験を取り入れて支援しています。

そして今年1月に初の「お茶会」の時間を設けました。

茶道を習っている職員が、着物を着て参加して下さったボランティア2名と共に、休憩室の畳スペースを利用して、釜に炭を熾こしての本格なお点前を披露しました…といっても、ちょっと「よそ行き」に、ゆったりとした時間を過ごすことが目的です。いつもの



の休憩室の雰囲気が一変し、利用者さんもリラックスと非日常のほど良いバランスの中で、お抹茶と季節感あふれる美しいお菓子をいただきました。利用者さんからは、「お茶もお菓子もおいしかった」「ちょっとびっくりしたけど楽しかった」等の感想をいただきました。

これからも、地元のボランティアさんの協力をいただきながら、季節に合った“楽しみ”や“潤い”を感じられる企画を計画し、利用者さんに喜んでいただける支援を提供してまいります。「えこ宮田」で“潤い”をどうぞ！(森岡)



平成27年度

長野県社会福祉事業団 実務論文の選考結果発表！

長野県社会福祉事業団では職員
の職務上必要な支援（指導）技能
の向上やモチベーションアップ等
を目的に、平成22年度から隔年で
実務論文集を発行しています。



レベルアップ研修での発表風景

昨年、平成28年3月22日（火）
に平成27年度中に応募のあった実
務論文について選考を行い、優良
賞及び準優良賞を下記のとおり選
考しました。
なお、入選した3論文につい
て、平成28年度レベルアップ研修
（平成28年7月28日（木）西駒郷）
にて表彰式と発表を行いました。

表彰	題名	氏名	事業所	概要
優良賞	自閉症スペクトラム者へのより良い支援を目指して（実践を通して学ぶ勉強会の取り組み）	竹倉文恵 正木壮一 宮入博喜 櫻井志帆 矢沢久美 中村恭華	西駒郷	自閉症スペクトラム者へのより良い支援を目指して立ち上げた勉強会。その勉強会で取り組んだ「支援員へのアンケート」や「実践を伴う事例検討」から考えた方向性について提言 →支援を良くする（変えていく）ためには職員に「主体性」と「行動力」が必要 →様々な業種を経験した職員がそれぞれの知識や経験を活かす
準優良賞	情緒障害児短期治療施設「松本あさひ学園」における「あさひクラブ」の活動報告 —アタッチメント理論と発達障害特性を踏まえて展開した余暇活動の試み—	田嶋里美	松本あさひ学園	移転前の施設から行っていた「太鼓クラブ」の展開をモデルに、余暇活動の充実と満足感や自己肯定感の向上を目指してスタートした「あさひクラブ」の取り組みを紹介 →安心・安全感のある安定した環境づくりと愛着形成の意味を再確認する効果をもたらした →結果的に分校教員や外部のクラブ指導者等との連携が深まった
準優良賞	ストレングスに着目した支援の効果について	森岡恵子 河口秀之 小池 譲 松井千登美 中村陽一 降幡茂美 野溝 斉 秦野夏子	西駒郷	利用者のストレングスに着目し、支援者の見方を変える支援を実践。その一例としてAさんの支援内容をまとめた →Aさんの表情に笑顔が多くなり、暴力を伴う行為も1年でほぼなくなった →職員も「利用者を変えるのではなく、支援者が変わる」という意味を実感できた



「子育てしやすい・働きやすい事業団を目指して」 ～育児休業取得率向上のための提言～

事業団では職員の積極的な考察、創意工夫を奨励するため提案制度を設けていますが、この度、青柳亮支援員（水内荘）から、育児休業取得率向上に関する提案があり、平成29年2月に理事長表彰を受けました。

この提案は育休中であっても事業主の依頼により、事業主と労働者がそれぞれを補完し合う形で月数回勤務するといった内容です。

仕事は家庭の支えがあつてこそ充実したものになります。今回の提案により育児休業が取得しやすい環境になれば、家庭生活の充実も図れ、それが仕事の充実、さらには職員のモチベーションアップにつながっていくことが期待されます。

【審査会コメント】

育休の取得率が低い背景には、仕事を離れることへの不安や、職場における理解の低さ、期間中の給与保証などといった問題があり、制度はあっても取得に踏み切れない男性が多い状況の中、今回の提案は「女性に限らず男性の育休制度に積極的な職場は、社員がいきいきと働き、限られた時間で結果を出すことができる。職場への成長に繋がる」という意味で期待のできる提案と評価できる。また、今回のアンケート結果等から、まだまだ法人として職員への理解不足、周知不足等、今後の改善点も明確になった。

移転開設!

八雲日和 就労継続支援B型分場

八雲日和は平成18年に「八雲作業所」として開設以来、10年あまりが経過しました。

おかげさまで、この10年で八雲日和の自主生産品である、「八雲うどん」、「八雲のお八季」は多くの方々に認知され親しまれてきました。その一方、生産量、販売量の増加に伴い、作業スペースが手狭になってきたほか、更に多くの方々に当所のうどん、おやきに親しんでいただくと共に、利用者がより快適で衛生的な環境で作業をしていただくため、豊野町内の小春日和近くに八雲日和の分場として、桜咲く平成28年4月、「うどん・おやき工房さくら」として開設しました。



以前活動していた八雲日和の主たる事業所は平屋建てでしたが、「さくら」は鉄筋2階建てです。

1階は、うどん・おやきの製造工房、静養室、2階は軽作業室、食堂、男女更衣室、事務所、トイレは男女ともに各階にあります。また、うどん・おやきの製造フロアは、共有部分を同室にまとめることにより、より効率的に作業出来る環境が整いました。

また、主たる事業所は住宅地から多少距離がありました。また、「さくら」は住宅地内にあるため、気軽にうどん・おやき購入に立ち寄っていただく方が増えてきており、思わぬ効果に今後の販売増や交流が期待されます。



当初、「さくら」の利用者の中には環境の変化に戸惑う方もいましたが、徐々に馴れ、元気に作業に取り組んでいます。しかし利用者の高齢化に伴い、作業スキルの衰えが見えているのも事実です。後継者の育成や新たな利用者の受入、新規作業の導入など課題はありますが、利用者、職員共に多くの方々に支えられ、地域の方々にご協力いただき開設出来たことに感謝しながら北信の風土に根ざしたうどん・おやき等の販売を大きく成長させていくよう努めていきたいと思っております。

近くにお越しの際は、どうぞお気軽にお立ち寄りください。
(玉井)

八雲のお八季



- ★八雲が作る「お八季」は地元で収穫した旬の野菜を味噌や醤油で味付けし、信州の地粉「更級のみくみ」で作った皮で包み蒸した素朴な昔ながらの家庭の「おやき」です。
- ★常時10種類前後
1個100円

八雲うどん



- ★信州豊野八雲うどんは、「おいしい小麦粉」、「赤穂の塩」、「水」だけで製造した安心・安全なうどんです。作り手同様、素朴で粋なうどんに仕上げました。
- ★太麺、細麺 1パック280g入り (2食分) 200円
- ★季節麺 生ひやむぎ、ぶっこみなど200円～250円

「うどん・おやき工房さくら」にて直接ご購入いただけます。人気商品のため前日までにご連絡いただければ確実です。発送も受け付けていますのでご相談ください。(別途、送料がかかります)

商品の問い合わせ、ご予約は
(福) 長野県社会福祉事業団 八雲日和「うどん・おやき工房 さくら」
営業時間 9時～17時・定休日・土日祝日
〒389-1105 長野県長野市豊野町豊野360-1
TEL 026-217-4123 FAX 026-257-4100
E-mail yagumo-sakura@aa.wakwak.com



佐藤涼香さん

うどん、おやきをいっぱい、売りたいです。



本間伸幸さん

新しい、きれいな建物で作業出来るのがうれしいです。

利用者のコメント

トピックス

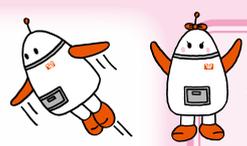
各種資金貸付事業を 利用してみませんか？

長野県社会福祉事業団では、次の資金貸付事業を行っています。

この事業は、一定の条件を満たすと貸付金の返還が免除されますので、介護や保育の仕事を目指す方、資格を取得しステップアップを目指す方、自立を目指す方などに優しい制度です。各事業により募集期間や対象者、貸付等の条件が異なります。詳しくは事業団（本部事務局）ホームページからご確認ください！
（黒字の事業は随時募集、赤字の事業は平成29年4月中に募集を行います）

1 介護福祉士修学資金等貸付事業

- (1) 介護福祉士・社会福祉士修学資金貸付事業（月額 50,000 円以内ほか）
- (2) 介護福祉士実務者研修受講資金貸付事業（200,000 円以内）
- (3) 離職した介護人材の再就職準備金貸付事業（200,000 円以内）



2 保育士修学資金貸付等事業

- (1) 保育士修学資金貸付事業（月額 50,000 円以内ほか）
- (2) 保育補助者雇上費貸付事業（年額 2,953,000 円以内）
- (3) 未就学児をもつ保育士に対する保育料の一部貸付事業（月額 27,000 円以内）
- (4) 就職準備金貸付事業（200,000 円以内）



3 ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業

- (1) 入学準備金貸付事業（500,000 万円以内）
- (2) 就職準備金貸付事業（200,000 万円以内）



4 児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付事業

- (1) 生活支援費（月額 50,000 円以内）
- (2) 家賃支援費（家賃相当額）
- (3) 資格取得支援費（250,000 円以内）



お問い合わせ 〒380-0928 長野市若里七丁目1番7号
長野県社会福祉総合センター5階 Tel: 026-228-0337



第6回 信州駒天駅伝大会 結果報告 [平成28年10月29日(土)]

区分	順位	チーム名/参加者名	所属
団体	1位	Acorn	伊那養護学校
	2位	チーム目指せ入賞	(医) 齊藤診療所
	3位	チーム年令不詳	(医) 齊藤診療所
個人 1.5km	男性	1位 片倉 千寛	伊那養護学校
		2位 野沢 恵吾	伊那養護学校
		3位 柴 良彰	伊那養護学校
	女性	1位 奥田 真衣	(医) 齊藤診療所
		2位 中山 ゆり	(医) 齊藤診療所
		3位 唐澤 祐希菜	駒ヶ根市立東中学校
個人 750m	男性	1位 大野 柊矢	伊那養護学校
		2位 大塚 悟	(医) 齊藤診療所
		3位 下平 拓樹	伊那養護学校
	女性	1位 中村 萌香	(医) 齊藤診療所
		2位 杉本 琴香	伊那養護学校
		3位 宮沢 美樹	(医) 齊藤診療所

プレゼント



辰野町障がい者就労支援センター
「工房ぬくもり」
支援員
奈須 楓からのメッセージ



「ギフトセット」

このギフトセットは、工房ぬくもりの生麺をより多くのお客様に食べていただきたいという想いから作りました。包装方法に改良を加えたことで、要冷蔵での長期保存が可能になり、日本全国に工房ぬくもりの味をお届けできるようになりました。工房ぬくもりの生麺をぜひご賞味ください。



事業団だより「やまなみ」の感想や今後掲載してほしい内容等について、①郵便番号、②住所、③氏名、④電話番号を記載のうえメールまたは郵便はがきにて法人本部（事務局）までお寄せ下さい。

3月末までにお寄せいただいた方の中から抽選で3名の方にプレゼントいたします。なお、当選発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。（プレゼントの発送は4月頃を予定しています。）

今回は事業団の「芸術活動」を特集しましたが、これまでも「やまなみ」では「食」や「スポーツ」等、障がいのある方の「暮らし」を豊かにする取り組みについて紹介してきました。なお現在、事業団では「第3次長期構想（5ヶ年計画）」を策定中ですが、「夢・情熱・連携が織りなす豊かな暮らし」を新たなスローガンに、引き続き障がいのある方の「豊かな暮らし」を応援してまいります。今後ともご支援・ご協力をよろしく願います。（「第3次長期構想」は次号特集予定）（中村）

編集後記

人事異動

退職

（平成28年9月30日付）

水内荘

主事／稲田優

事業所間異動等

（平成29年1月1日付）

ほっとグループホーム居宅

主事／茂木誠（ほっとグループホーム伊北・伊南兼）

（兼）他職との兼務職員

掲載記事の内容等についてのお問い合わせ及びプレゼントの応募はこちらまでお願いします。



社会福祉法人
長野県社会福祉事業団

〒380-0928 長野市若里七丁目1番7号 長野県社会福祉総合センター5F
tel: 026-228-0337 fax: 026-228-0310
URL: http://park19.wakwak.com/~nagano-shafuku-j/